

# APEC 首脳会議における習近平国家主席の演説

田中 修

## はじめに

習近平国家主席は11月9日、APEC 首脳会議開幕式で演説を行った。本稿では、このうち彼が中国経済の現状について解説した部分を紹介する(新華社北京電2014年11月9日)。

昨年、APEC 首脳会議において、私は友人達に中国経済の発展への自信と改革を引き続き深化させる決心を紹介した。1年が過ぎ、私は当時の観点が実証されたことを嬉しく思う。

## 1. 中国経済の現状

今年1-9月期、中国のGDPは前年同期比7.4%成長し、各主要経済指標は合理的区間にある。現在、中国経済は安定した発展態勢を維持しており、都市の就業は引き続き増加し、個人所得・企業収益・財政収入は平穏に伸びている。更に重要なことは、構造調整に積極的な変化が出現し、サービス業の成長の勢いが顕著となっており、内需が不断に拡大しているということである。

中国経済には新たな常態が出現しており、これにはいくつかの主要な特徴がある<sup>1</sup>。

- ①高速成長から中高速成長に転換している。
- ②経済構造が不断に最適化・グレードアップしている。

第3次産業・消費需要が徐々に主体となっており、都市・農村と地域間の格差は徐々に縮小し、個人所得のウェイトが上昇し、発展の成果・恩恵が更に広範な民衆に及んでいる。

- ③要素駆動・投資駆動からイノベーション駆動に転換している。

新たな常態は、中国に新たな発展のチャンスをもたらすことになる。

- (1) 新たな常態の下、中国経済の成長は鈍化してはいるが、実際の増量は依然目をみはるものである

30年余りの高速成長を経て、中国経済の全体量はもはや昔日の比ではない。2013年1年間の中国経済の増量は、1994年の経済総量に相当し、全世界の第17位に列している。7%前後の成長であっても、速度面でも全体量の面でも世界の上位に名を連ねているのである。

- (2) 新たな常態の下、中国経済の成長は更に平穏化しており、成長動力は更に多元化している

中国経済の成長は更に反落するのではないかと、正念場を乗り越えられないのではないかと心配する人がいる。リスクは確かにあるが、さほど恐れるには足りない。中国経済の強靱性は、リスク防止の最も有力な支えである。我々はマクロ・コントロールの考え方・方法を刷新しており、現在確定している戦略と抱えている政策の備蓄は、出現しうる各種リ

---

<sup>1</sup> ゴチックは筆者。

スクに対応する能力があると我々は信じている。

我々は、現在新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化を協同して推進しており、これは各種の「成長の悩み」の解消に資するものである。中国経済は、国内消費需要の牽引に更に多く依存し、輸出依存による外部リスクを回避する。

### (3) 新たな常態の下、中国経済の構造は最適化・グレードアップしており、発展の見通しは更に安定している

今年1-9月期、中国の経済成長に対する最終消費の寄与率は48.5%であり、投資を上回った。サービス業の付加価値のウエイトは46.7%であり、引き続き第2次産業を上回った。ハイテク産業と装置製造業の伸びは、それぞれ12.3%と11.1%であり、工業の平均の伸びより顕著に高かった。GDP単位当たりのエネルギー消費は4.6%低下した。

これらのデータは、中国経済の構造に現在深刻な変化が発生し、質が更に好くなり、構造が更に最適化していることを示すものである。

### (4) 新たな常態の下、中国政府は行政の簡素化・権限の開放に力を入れており、市場の活力が更に発揮されている

簡単に言えば、市場という「見えざる手」を開放し、政府という「見える手」をうまく用いなければならない。たとえば、我々は企業登記制度を改革したが、1-9月期に全国で新たに資本を登記した市場主体は920万社であり、新たに増えた企業数は昨年より60%以上伸びている。

## 2. 改革の全面深化

同時に、我々は新たな常態は新たな矛盾・新たな問題を伴ってもおり、いくらかの潜在リスクが徐々に水面に浮き出てきていることも冷静に認識している。新たな常態に適應できるかどうかのカギは、改革の全面深化にある。

私は昨年首脳会議で、「中国の改革は既に堅壘攻略の時期・深水区域に入っており、我々は敢えて難題に取り組み、敢えて難所を渡り、敢えて長年累積した治療困難な疾病に対しメスをふるわなければならない」と述べた。党18期3中全会は、改革の全面深化について総体的な手配を行い、それは15分野、330項目余りの重大な改革措置に及んでいる。現在、これらの改革措置は正に項目ごとに実施されている。もはや後戻りはできず、我々は断固として改革事業を深く推進していく。

### (1) 我々が改革を全面的に深化させるに際しては、市場に内蔵された活力を奮い立たせなければならない

市場の活力は人とりわけ企業家・企業家精神に由来する。市場の活力を奮い立たせるとは、開放すべき権限を全て開放し、作るべき環境をしっかりと作り上げ、制定すべき規則をしっかりと制定することにより、企業家に力を発揮するチャンスを与えることである。

我々は政府の役割を更に好く発揮させ、管理者を更に多く奉仕者へと転向させ、企業のために奉仕させ、経済社会の発展のために奉仕させることを強調する。

**(2) 我々が改革を全面的に深化させるに際しては、イノベーションのために道を切り開かなければならない**

イノベーションが中国の発展の新たな牽引力であるというならば、改革は必要不可欠な点火装置であり、更に有効な措置を採用してイノベーションによる牽引を全速力で発動しなければならぬ。

我々はイノベーション駆動という原動力の作用発揮に力を尽くし、イノベーション型企業、活力に満ち溢れた中小企業を更に多く支援し、伝統産業の改造・グレードアップを促進し、新たな成長点・駆動力をできるだけ速やかに形成する。

**(3) 我々が改革を全面的に深化させるに際しては、ハイレベルの対外開放を推進しなければならぬ**

中国は、①**開放型の経済新体制の構築**に力を尽くし、市場参入を緩和し、資本市場を含むサービス業の対外開放を拡大し、内陸・国境沿いの地域の開放を拡大する。

②イノベーションを進展させ、成長が連動し、利益が融合した開放型のアジア・太平洋の経済構造の確立に力を尽くし、**今年アジア・太平洋自由貿易地域のプロセス始動を推進**し、APEC がアジア・太平洋自由貿易地域を組織的に推進・実現するための路線図を制定する。

③**参入前国民待遇のポジティブ・ネガティブリストによる管理モデル**を積極的に模索し、中国が改革開放を全面的に深化させるため新たなルートを模索し、新たな経験を累積する。

**(4) 我々が改革を全面的に深化させるに際しては、人民の福祉を増進し、社会の公平・正義を促進しなければならぬ**

全ての改革の帰結は、人民のためであり、庶民に好い暮らしをさせるためである。中国は更に積極的な**就業・起業政策**を実行し、**人民の所得の継続的な向上**を推進する。今年1-9月期、中国都市部の新規就業増は1082万人であり、消費者物価指数は前年同期比2.1%上昇し、都市・農村住民の1人当たり所得はそれぞれ6.9%、9.7%増加した。

中国は現在更に**公平で持続可能な社会保障制度**を建設中であり、健全な公共サービス体系を整備し、**社会のガバナンス体制**を刷新する。

つまるところ、我々が現在推進中の改革全面深化は、**社会の生産力解放**にとっても、**社会の活力の解放**にとっても、必ずや**中国経済社会の発展**を推進する強大な動力となるものである。

(11月11日記)